

木平台・木脚製作講習会 開催

7月9日に東大阪工場にて製作課 今北主任に講師をしていただき、木平台・木脚製作講習会を開催いたしました。今回の講習では新入社員・2年目の社員を中心に約15名の方に参加していました。講習会の様子をリポートします！



はじめに木平台の桟の入れ方の違いによる強度実験を行いました。木平台の上に同じ重さのシズを乗せて検証した結果、縦桟を入れた木平台の方が横桟を入れた木平台よりも強度が高いことがわかりました。強度実験の結果を踏まえてH600のライザーの製作に取り掛かります。



製作実技では今北主任チーム・製作課藤さんチームの2チームに別れてどちらのチームが制限時間内に正しく安全に製作できるか競い合いました。意見を出し合い役割分担しながら、安全に素早く製作していました。出来上がったライザーを用いて、どこの桟が強度を高める上で重要な説明もありました。制限時間を設けることで現場で急遽必要になった場合でも、安全に使用できる木平台・木脚を製作する練習になったのではないでしょうか。



参加していただいた皆様ありがとうございました！



↑強度実験の様子

令和元年度 全国労働衛生週間

全国労働衛生週間は、労働者の健康管理や職場環境の改善など、労働衛生に関する国民の意識を高めるとともに、職場での自主的な活動を促して労働者の健康を確保することなどを目的に昭和25年から毎年実施しているもので、今年で70回目になります。毎年10月1日から7日までを本週間、9月1日から30日までを準備期間とし、労働衛生に関する講習会・見学会の開催など、さまざまな取組みを展開します。労働衛生分野では、過重労働等により労働者の命が失われることや健康障害、職場における労働者のメンタルヘルス不調、病気を抱えた労働者に対する治療と仕事の両立支援、化学物質による重篤な健康障害などが重要な課題となっています。このような状況を踏まえて、改正労働安全衛生法（平成31年4月1日施行）に基づく、労働時間の状況の把握や長時間労働者に対する医師の面接指導等の実施の徹底、病気を抱えた労働者の治療と仕事の両立支援を社会的にサポートする仕組みの整備を行っています。

是非、この機会に知っておいてください！